

RELIEF
POWER SERIES

取扱説明書

商品コード 83012
HSC-160TB

小型高速切断機

3,000～8,300min⁻¹(rpm)



この度は、当社小型高速切断機をお買い求めいただき誠にありがとうございます。安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みくださるようお願いいたします。
また、お読みになった後は、本機をお使いになる方が、いつでも見られる所に大切に保管してください。

High Speed Cut-Off Machine

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお問い合わせの販売店、または下記発売元にお問い合わせください。
※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元
株式会社 ミットモ製作所
兵庫県三木市別所町小林 657-75
MADE IN CHINA

●お問い合わせ
TEL 0794-84-1630
受付時間 午前10:00～午後5:00
(土・日・祝祭日並びに当社休日を除く)



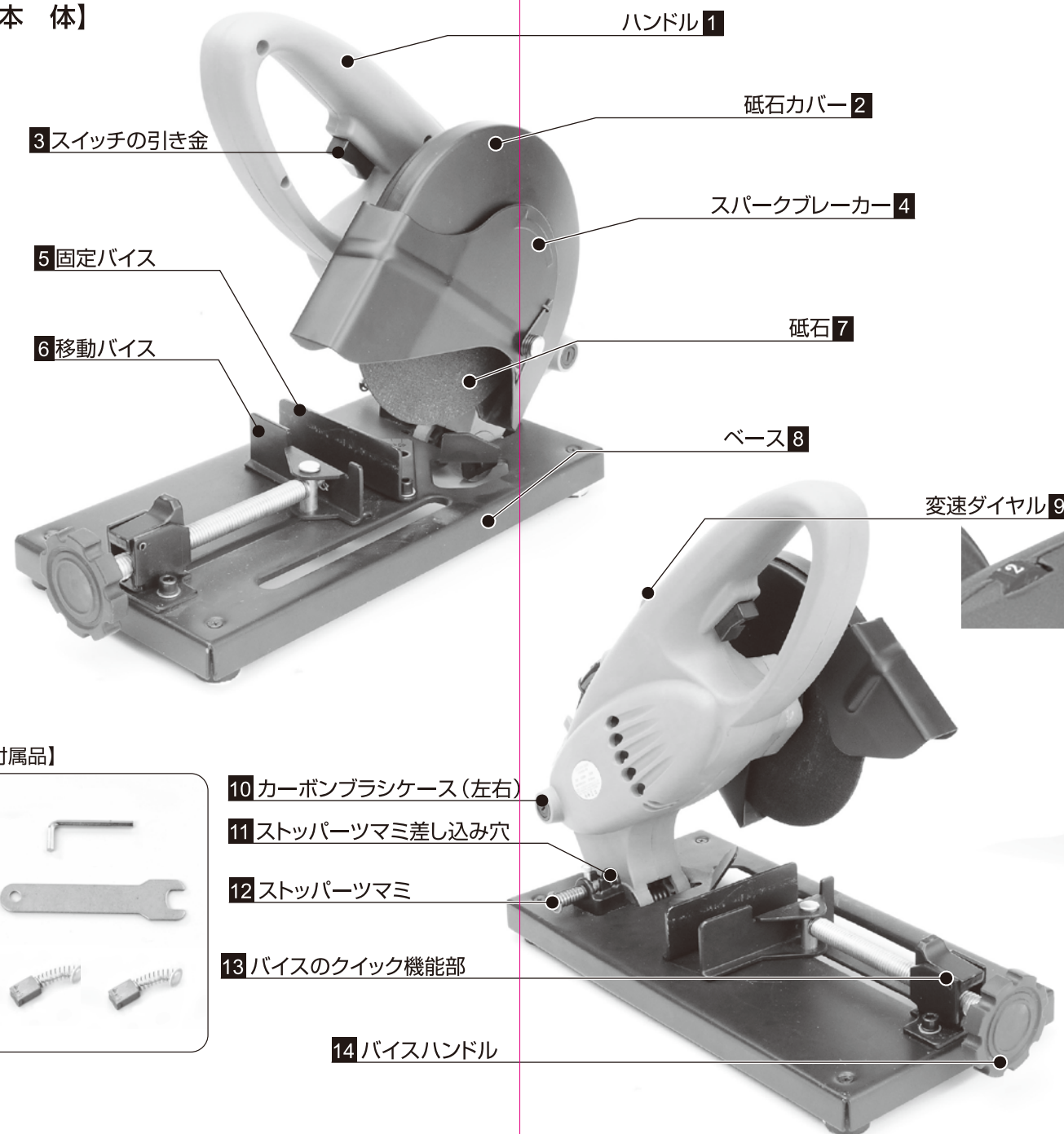
INDEX 目次

目次	01
警告文、注意文の意味について	01
各部の名称	02～04
製品の仕様、用途	04
電動工具使用に関する安全上のご注意	05,06
小型高速切断機(切断砥石付き)のご使用に際して	07,08
騒音について	08
操作方法	09
漏電遮断器について	09
ハンドルの解除とロック	09
スイッチの扱い方	09
砥石の取り付け、取りはずし	10
ご使用前の準備	11
ご使用前の点検	12
ご使用方法	13
スイッチの操作	13
変速ダイヤルの操作	13
変速ダイヤルの調節(目安)	13
切断の方法	13
鉄工用チップソー(別売品)の装着	13
保守と点検	14
砥石の点検	14
使用後の手入れ	14
取り付けネジの点検	14
カーボンブラシについて	14
故障時のチェック	14
修理について	14
別売消耗品	15
用途が広がる豊富なラインアップ	15

警告文、注意文の意味について

⚠警告	「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。なお「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があり、いずれも安全に関する重要な内容が記載されており、「警告」事項と同じように必ず守って安全作業を心がけてください。

【本 体】



【付属品】



製品の仕様

品 番	HSC-160TB		
電 源	AC100V 50/60Hz		
電 流	6.5A		
定格消費電力	600W		
定格使用時間	30分		
無負荷回転数	1 : 3,000min ⁻¹ (rpm) 4 : 7,200min ⁻¹ (rpm) 2 : 4,500min ⁻¹ (rpm) 5 : 8,000min ⁻¹ (rpm) 3 : 6,500min ⁻¹ (rpm) 6 : 8,300min ⁻¹ (rpm)		
砥 石 寸 法	外径160mm×厚さ2.5mm×穴径20mm		
最大切断寸法	角パイプ	丸パイプ	L字鋼
	40×40mm	Φ45mm	45×45mm
本 体 寸 法	390×300×180mm (ベース含む・ストッパー開放時)		
質 量	4.5kg (コードを含む)		
コ ー ド	2芯 2.0m		
絶 縁 構 造	□ 二重絶縁		

各部の名称

【本 体】

1	ハンドル
2	砥石カバー
3	スイッチの引き金
4	スパークブレーカー
5	固定バイス
6	移動バイス
7	砥石 (A材切断用砥石 粒度: #46)
8	ベース
9	変速ダイヤル
10	カーボンブラシケース (左右)
11	ストッパーツマミ差し込み穴
12	ストッパーツマミ
13	バイスのクイック機能部
14	バイスハンドル

【付属品】

・シャフトロックスパナ	1 本
・六角レンチ 5mm	1 本
・カーボンブラシ	2 個 1 組

用 途

■各種材料の切断

○鉄、ステンレス、アルミ、銅、エンビ管等の丸パイプ、角パイプ、丸棒、C型・L型钢の切断に

電動工具使用に関する安全上のご注意

⚠ 警告	
1	ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。
2	感電に注意してください。 ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
3	作業場の周囲状況も考慮してください。 ・電動工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿ったり、ぬれた場所では使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。 ・作業場は明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。 ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4	保護メガネを使用してください。 ・作業時は、保護メガネを使用してください。また粉じんの多い場所では、防じんマスクを併用してください。切削したもののや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
5	防音保護具を着用してください。 ・騒音の大きい場所での作業には、耳栓やイヤマフラーなどの防音保護具を着用してください。
6	加工する物をしっかりと固定してください。 ・加工する物をしっかりと固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。固定が不十分な場合は、けがの恐れがあります。
7	次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。 ・使用しない場合や、修理する場合。 ・砥石などの付属品を交換する場合。 ・その他危険が予想される場合。本体が作動して、けがの恐れがあります。
8	不意な始動は避けてください。 ・スイッチに指をかけて運ばないでください。本体が作動して、けがの恐れがあります。 ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
9	指定の付属品やアタッチメントを使用してください。 ・本体取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
10	コードを乱暴に扱わないでください。 ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ掛けてコンセントから抜かないでください。 ・コードを熱源や油、角のとがった所に近づけないでください。

⚠ 注意	
1	作業場は、いつもきれいに保ってください。 ・散らかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2	子供を近づけないでください。 ・作業者以外、電動工具や充電器のコードに触れないでください。 ・作業者以外、作業場へ近づかないでください。
3	使用しない場合は、きちんと保管してください。 ・乾燥した場所で、子供の手の届かない所に保管してください。事故の恐れがあります。 ・電動工具を、温度が50℃以上にあがる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあり危険です。また、感電に注意してください。
4	無理に使用しないでください。 ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。

⚠ 注意	
5	作業に合った電動工具を使用してください。 ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。 ・指定された用途以外には使用しないでください。
6	きちんとした服装で作業してください。 ・だぶだぶの衣服やネックレス、ネクタイなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。 ・屋外での作業の場合は、ゴム手袋とすべり止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。 ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7	無理な姿勢で作業をしないでください。 ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保ち、作業をしてください。転倒してけがの恐れがあります。
8	電動工具は、注意深く手入れをしてください。 ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態に保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの恐れがあり危険です。 ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
9	調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。 ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
10	油断しないで十分注意して作業を行ってください。 ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などに十分注意して、慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。 ・常識を動かしてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあり危険です。 ・疲れている場合は使用しないでください。
11	損傷した部品がないか点検してください。 ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。 ・可動部分の位置調整および締めつけ状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。 ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または発売元に修理を依頼してください。
12	電動工具の修理は、専門店で依頼してください。 ・サービスマン以外の人は本体を分解したり、修理、改造を行わないでください。発火したり、異常作動して、けがをする恐れがあります。 ・本体が熱くなったり、異常に気づいた時は点検修理に出してください。 ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。 ・修理は、必ずお買い求めの販売店または発売元にお申しつけください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく、事故やけがの原因となります。

小型高速切断機（切断砥石付き）のご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、小型高速切断機をご使用の際には、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

	⚠ 警告
1	本機が輸送途上において衝撃等により接続金具がはずれたり、破損することがあります。 ・使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
2	使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。 ・電源コード、差し込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災のおそれがあります。
3	使用電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。 ・100V仕様のものに間違えて200Vの電源を接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあります。
4	差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。 また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、必ずコンセントからプラグを抜いてください。
5	本機を雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。 また、ぬれた手で差し込みプラグに触れないでください。 ・感電のおそれがあります。
6	スイッチを入れる前に、砥石などのヒビ割れ、ヒズミ、横ブレ、破損などがないか確認をしてください。 ・万一破損など発見しましたら危険ですので、新しい砥石と交換してご使用ください。
7	ご使用前に必ず試運転をしてください。 砥石を交換した時は必ず3分以上、通常の作業開始時は1分程度の試運転を心がけてください。
8	本機の使用および据えつけは、必ず水平で安定した場所を選定してください。 ・不安定な作業台や場所での使用は思わぬ事故の原因になります。
9	砥石カバー、スパークブレーカーは必ず取りつけてご使用ください。 ・カバーをはずしてご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
10	切断する材料は、必ずバイスで確実に固定をしてから切断してください。 ・手や足で材料を押さえて切断しますと、思わぬ事故の原因になります。
11	回転中は絶対に砥石に手を触れないでください。 ・本機は高速で回転していますので大変危険です。
12	本機は、高速回転をしますので必ず最高周速数または最高回転数をご確認いただき、本機の規格に合った切断砥石などをご使用ください。 また、砥石の側面を使用しての作業はしないでください。 ・思わぬ事故の原因になります。
13	砥石などを交換をするときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。 ・不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
14	切断作業は、砥石などの回転が十分に上がってから行ってください。
15	作業者は、長袖、長ズボン、保護メガネ、マスク、皮手袋等を必ず身につけてください。 ・研磨粉や火花が飛び散り、火傷や目、口に研磨粉が入る場合があります。
16	可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。 ・可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
17	使用中、本機の異常に気づいた時はただちにスイッチを切り、必ずプラグを電源から抜いて、お買い上げの販売店に修理に出されるか、または弊社にご連絡ください。

	⚠ 注意
1	切断時はハンドルを強く押しすぎないでください。 ・本機のモーターに強い負荷がかかり故障の原因となります。
2	本機はスイッチを切っても砥石などの回転はすぐに止まりません。 ・持ち運びには、回転の停止を確認してください。
3	切断直後の材料は熱くなっています。 ・火傷の恐れがありますので、すぐには触らないでください。
4	作業者以外は本機のまわりに近づけないでください。 ・周囲に火花が飛び散り、思わぬ事故の原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、遮音壁を設けるなどしてください。

操作方法

■漏電遮断器について

ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電遮断装置（漏電遮断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断器をご使用ください。

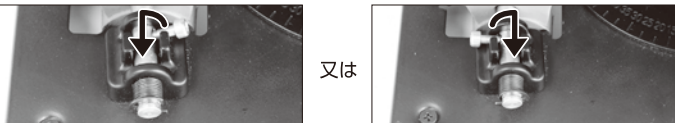
※二重絶縁構造製品は法律により漏電遮断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電遮断器の設置をおすすめします。

二重絶縁について：電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることをいいます。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。本体は、二重絶縁しており、銘板に回マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違っ組み立てたりすると二重絶縁構造ではなくなります。電気系統の分解や組み立て、部品の交換はお買い求めの販売店、または発売元にお問い合わせください。

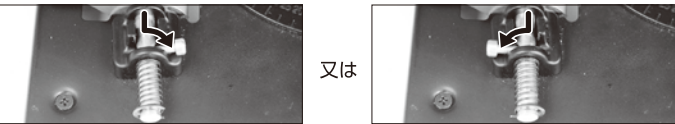
■ハンドルの解除とロック

注:ハンドルは必ず手で押さえた状態で解除、ロックを行ってください。ハンドルが急に跳ね上がり、ケガあるいはハンドル軸の破損の原因となります。

●ロック解除
ハンドルを少し下げたまま、ロックピンをおこし、ストッパーを解除します。（バネの力で戻ります）



ロックピンを倒してストッパーを固定します。（作業中にハンドルロック防止のため）



●ハンドルのロック
ハンドルのロックは逆の手順で行います。

■スイッチの扱い方

⚠ 警告
・使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
・使用中は、振りまわされないよう本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
⚠ 注意
・プラグを電源に差し込む前にスイッチがOFFになっていることを確認してください。不意な始動は、けがの原因になります。

・スイッチはトリガー式です。トリガーを引くと電源が入りモーターが回転し、離すと切れます。

※回転はスイッチを入れ数秒の遅れがありますが、故障ではありません。

入



切

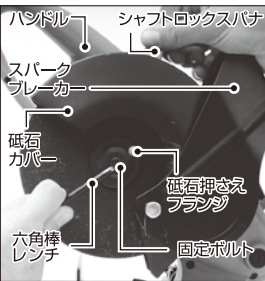


■砥石の取り付け、取りはずし

⚠ 警告
・固定バイスの移動や砥石の交換をする時は必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因となります。
・砥石の取り付けは確実にしてください。取りつけが不十分ですと使用中に、砥石がはずれて大変危険です。

【砥石の取りはずし】

- 1.砥石カバーとハンドルの間にあるシャフトロックスパナ差し込み口に、シャフトロックスパナを差し込みます。
- 2.砥石を手でまわし、シャフトの切り込み部とスパナを噛み合わせて砥石の回転を止めてください。
- 3.砥石カバーについているスパークブレーカーを上に移動させてください。
- 4.砥石押さえフランジの固定ボルトを付属の六角棒レンチで左にまわし取りはずします。



【砥石の取り付け】

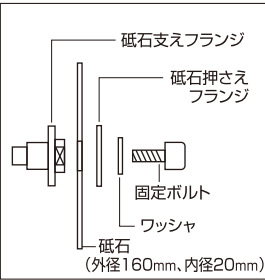
砥石の取りはずしの手順1～3の後に切断砥石、砥石押さえフランジ、固定ボルトの順にはめ、付属の六角棒レンチで確実に固定ボルトを締めつけてください。

※シャフトを手でまわしてください。

※本機の砥石押さえフランジは20mmになっています。穴径が20mm以上の切断砥石をセットする時は内径を調整する砥石用プッシュ（市販品）をご使用ください。

※砥石は必ず切断砥石を使用してください。

※砥石の取り付け、取はずしは必ず手袋を着用してください。



ご使用前の準備

※作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

⚠ 警告

・延長(継ぎ)コードは損傷のないものをご使用ください。

■漏電遮断器の設置をおすすめします。

・二重絶縁構造製品は法律により漏電遮断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電遮断器の設置をおすすめします。

■延長(継ぎ)コードを用意します。

・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
下表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と最大の長さです。

コードの太さmm ²	コードの長さ(m)
1.25	15
2	25
3.5	45



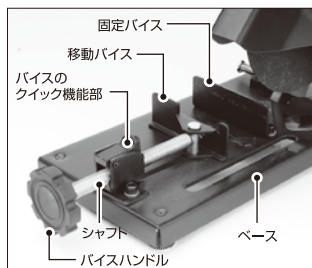
■ハンドル固定の解除

- ・出荷時にはハンドルを押さえてストッパーツマミを押し込み、ハンドルを固定してあります。
- ・ハンドルを押さえてストッパーツマミを引き抜くと、ハンドルの固定は解除されます。
- ・持ち運び、保管の時は必ずハンドルを固定してください。

■バイスのクランプ方法について

●通常のクランプ方法

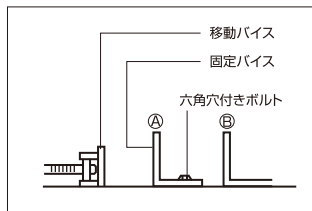
1. バイスのクイック機能部の爪を起こし、移動バイスを手前に引いてください。
2. 材料をベースにのせて、固定バイスに合わせます。
3. バイスのクイック機能部の爪を持ち、移動バイスをスライドさせて材料に当て爪を倒します。
4. バイスハンドルを右にまわすと材料を固定し、左にまわすと解除されます。



※爪が固くて起こせない時は、バイスハンドルを左に数回まわすとゆるみます。

●固定バイスの移動方法

1. 固定バイスがAの位置では材料を切り落とすことができない時に、Bの位置に移動することで切り落とすことができます。
2. 固定バイスの六角穴付きボルト2本を付属のレンチで抜き取ります。
3. 固定バイスをBの位置に移動し、六角穴付きボルト2本で確実に固定をしてください。

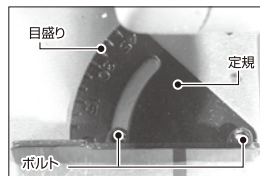


※固定バイスを移動させた時は角度を確認してください。

●角度切りについて

1. 固定バイスの六角穴付きボルト2本を付属のレンチでゆるめます。
2. バイスについている角度目盛りを0~45°に合わせて調整し、六角穴付きボルト2本を締めつけてください。

※目盛りは目安としてご使用ください。



ご使用前の点検

⚠ 警告

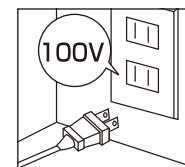
・ご使用前(電源プラグをコンセントに差し込む前)に必ず保護カバーが円滑に動くことを確認してください。砥石などが露出したままですと、けがの原因になります。

■スイッチが切れていることを確かめます。

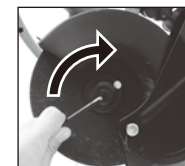
・スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントに差し込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。スイッチは引くと入り、離すと切れます。

■電源を確かめます。

・お求めの小型高速切断機は100V用です。200V電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、破損する恐れがあります。
また、直流電源で使用しないでください。砥石の損傷をまねくだけでなく大変危険です。

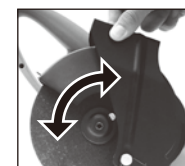


■砥石の締めつけを確かめます。



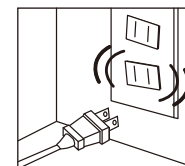
■保護カバーの動きを確かめます。

・保護カバーは体が砥石に触れるのを防ぐものです。必ず砥石をおおうように円滑に動くことを確認してください。万一、保護カバーが円滑に動かない場合は、決してそのまま使いにならないで、お買い求めの販売店、または発売元にお問い合わせください。



■コンセントを確かめます。

・コンセントがガタついたり、電源プラグの差し込みがゆるいと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



ご使用方法

⚠ 警告

- ・使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100V仕様の機械に間違えて200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- ・保護メガネ、マスク、皮手袋等を必ず身につけてください。
- ・スイッチを入れる前に、砥石のヒビ割れ、ヒズミ、横ブレ、破損などがないか確認をしてください。
- ・切断時はハンドルを強く押しすぎないでください。本機のモーターに強い負荷がかかり故障の原因となります。
- ・ご使用前に必ず試運転をしてください。砥石を交換した時は3分以上、通常の作業開始前は1分程度の試運転を心がけてください。

■スイッチの操作

- ・スイッチはスイッチの引き金を引くと入り、離すと切れます。

■変速ダイヤルの操作

- ・本機のアーム上面に変速ダイヤルが付いています。
- ・切断砥石（別売品鉄工用チップソー）に合わせて回転数を調節してください。
- ・変速ダイヤルはHの方向にまわすと番号が1、2、3、4と変わります。Lの方向にまわすと番号が小さくなります。

■変速ダイヤルの調節（目安）

- ・変速ダイヤルは、切断砥石（付属品）鉄工用チップソー（別売品）別にダイヤルを1～6の間で調節して切断してください。

刃物	ダイヤル	1	2	3	4	5	6
砥石		×	△	○	○	注1	注1
チップソー		△	○	○	注2	注2	注2

○=普通の切断 △=切り落としに多少時間がかかる ×=切り落とせない（エンビ管等や柔らかい材料は切り落とせます。）

注1=必ず砥石の最高回転数を確認の上ご使用ください。

注2=高速回転のため鉄工用チップソーの刃先を傷める恐れがあります。

■切断の方法

- ・変速ダイヤルを切断砥石（鉄工用チップソー：別売品）の切断可能領域に合わせてください。（変速ダイヤル調節の項を参照してください。）
- ・スイッチの引き金を引き、回転が十分に上がってから切断を行ってください。
- ・切断材料に静かに砥石（鉄工用チップソー：別売品）を当て、ハンドルを真下に押し下げます。

※ハンドルをねじる形で押し下げるとベースに切断砥石が接触することがありますので、必ずハンドルを真下に押し下げてください。

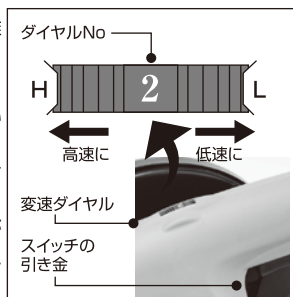
※切断する材料は、バイスで確実に固定してから切断してください。

■鉄工用チップソー（別売品）の装着

- ・本機の切断砥石を鉄工用チップソー（外径165mm×厚さ1.8mm×穴径20mm×刃数40P）に取り替えて使用することができます。

※穴径が20mm以上の鉄工用チップソーを取りつけないときは、穴径を調整するブッシュをご使用ください（別売）。

※鉄工用チップソーの取り付けは回転方向をよく確かめ10ページの「砥石の取り付け、取りはずし」の項を参照してください。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。
- ・極端に切れ味の悪くなった砥石を無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

■砥石の点検

- ・切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかることになり、能率も落ちますので早めに目立てするか、新品と交換してください。

■使用後の手入れ

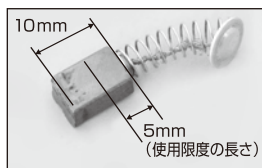
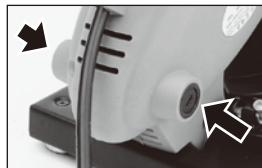
- ・油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布が石けん水をつけ固く絞った布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体を傷めます。また、水洗いは絶対にしないでください。

■取り付けネジの点検

- ・時々点検して、ゆるんでいたら締め直してください。そのまま使用すると危険です。

■カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシはモーターカバー先端左右についています。
- ・⊖のキャップを左にまわすとカーボンブラシを取り出すことができます。
- ・カーボンブラシをセットする時は正確に差し込み、⊕キャップを締めつけてください。
- ・カーボンブラシは約5mmになりましたら交換してください。
- ・カーボンブラシの寸法 8×5×10mm



■故障時のチェック

	原因	処理方法
モーターが回転しない	①電源コードの切断 ②スイッチの故障 ③モーターの故障 ④カーボンブラシの摩耗	①電源コードを交換 ②スイッチを交換 ③モーターの修理、または交換 ④カーボンブラシの交換
切断時に振動が大きい	①砥石がヒズミ ②砥石が正確にセットされていない	①砥石を新しいものと交換 ②砥石を正確にセットし直す
切断時に力が弱い	①砥石の取り付け不完全で、ゆるいため、砥石が空転 ②延長コードが細いか長すぎる ③モーターの故障	①正確に強く締めつけ直す ②延長コードの長さをできるだけ短くする。太さ2.0mm以上で20m以内 ③モーターの修理、または交換
モーターの加熱	①切断時の押さえすぎによる過負荷	①無理な力を入れずに軽く押さえる

■修理について

- ・本品は厳密な管理のもとで製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店または発売元までお問い合わせください。
- ・その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

